## 行政評価(継続事業)

終了

	終了	7																										
					概算コスト(単位:千円)					主な活動指標					主な成果指標					達成	達成度 妥当性			性	有効性	公平性		
No	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	成材	・業の必要性	関	A 1 11111	ト編派のエ	$\sim$ 1	負担	一次評価結果	评 評価理由 話
	の地	化部清掃工場 地元還元施設 建設事業	環境局	○事業開始年度 平成19年度 【概 要】新工場建設に伴う地元同意取得に対する地元要望である還元施設を建設する。 〈対象者】大迫町住民 【具体的な活動内容】 「還元施設の建設(簡易水道の整備)		[概算コスト] 0	[概算コスト] 0	[概算コスト] 207,912	[概算コスト] 5,835		[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]	周辺住民の 生活環境及 び福祉の向 上並びに環		[目標値]	[目標値]	[目標値]									<b>終了</b> (理由)
					市単	(内訳) ・決算額	(内訳) ・決算額		(内訳) •予算額 4,117		[実績値]	[実績値]	[実績値] 5		境行政に対する理解促進	[実績値]	[実績値]	[実績値]		0 (	o	0	9 0	0	o o	-	FF	地元要望による整備が完了することに伴い終了する。 F
						·人件費 0	•人件費	・人件費 2,610 (0.60人)	1		〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉 83.3%			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉										
			企画部 交通政策課	○事業開始年度 平成13年度 [概 要]平成19年度にJR九州と締結した工事に関する基本協定に基づき、JR九州がホームなどの駅施設の整備工事を行うとともに、庶児島市が駅前広場の整備工事を行う。 [対象者]JR広木駅(仮称)付近の住民 [具体的な活動内容]平成20年度の概要 駅施設の整備工事(R九州)(ホームなどの整備) ・駅前広場の整備工事(市) ・新駅開業(予定)		[概算コスト] 7,208			[概算コスト] 314,833	での累積事 業費/全体	348 691	[目標値] 348,691	[目標値] 348,691		公共交通機 関の機能強 化	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]									<b>終了</b> (理由)
		R広木駅(仮 な)設置促進 事業				(内訳) ・決算額 2,963	(内訳) ・決算額 13,101	(内訳) ·決算額 14,888	(内訳) •予算額 310,968	事業費 (単位:千 円)	[実績値]	[実績値] 22,835	[実績値] 37,723			[実績値]	[実績値] [実績値]	(	0	0	0	0 0	0	0 0	0	FF	JR広木駅(仮称)が21年3月に開業 する見込みであることから、それに伴 い事業を終了する。	
		7-14				·人件費 4,245 (1.00人)	·人件費 4,245 (1.00人)	1	・人件費 3,865		〈達成率〉 2.8%	〈達成率〉 6.5%	〈達成率〉 10.8%			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉										
3	. 5		建設局 都市再開発 課	○事業開始年度 平成19年度	場に国権助	[概算コスト] 0	[概算コスト]		9,037 2,251 (内訳) 章額 - 予算額 6,862 牛費 - 人件費 2,175 2,147	(単位:千 円) [ 4	単位:千	績値] [実績値]	6,752		道路交通の 円滑化	[目標値]	[目標値]	[目標値]	[目標値]							i		<u>終了</u>
		主車場案内 ・ステム等		【概要】本市の駐車需給等の実態を踏まえ、関係機関や関係課と協議を行いながら、システム更新が近づいている現行の駐車場案内システムと鹿児島市における建築物に附置する駐車施設に関する条例の今後の対応について検討を行い、必要な対応を組		(内訳) ·決算額	(内訳) ·決算額	(内訳) ·決算額								[実績値]	[実績値]	[実績値]		00		0	<ul><li>0</li></ul>	_	- 0		A F	(理由) 今年度中に今後の対応方針を定 め、当調査検討事業は終了すべきで ある。
		調査検討事業		み立てる。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・駐車場案内システム等調査業務委託の実施(H19年度) ・鹿児島市駐車場案内システム等連絡調整会議の設置(H19年度) ~)		·人件費 0	•人件費	•人件費					〈達成率〉 100.0%			〈達成率〉	〈達成率〉	〈達成率〉										
4	社会基盤・都市施設基盤			〇事業開始年度 平成8年度	日本 (内) (内) (内) (大)	[概算コスト] 12,408		1	[概算コスト] 22,527	-] 中央地区に 7 おける自転 事等駐場の整備台数 (単位:台)	1,800 (実績値) 1,169	[目標値] 1,800		1,684	中央地区に おける放置 自転車等の 台数 (単位:台)	1.050	[目標値] 632	[目標値] 732		(a)						$\prod$		終了
		自転車等駐車 対策推進事業	建設局道路管理課	【概 要】天文館を中心とする中央地区において、公共の場所における自転車等の放置等の防止に努め、交通の円滑化及び良好な生活環境の確保を図るため、自転車等駐車場を整備し、その周辺を放置禁止区域に指定する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】		(内訳) ・決算額 8,163	(内訳) •決算額 12,146		(内訳) ・予算額 20,380				,			[実績値] 948					0 0	0	<ul><li>Δ</li></ul>	0	0 0	0	Bb F	(理由) 自転車等駐車場の設置と放置禁止 区域の指定について当初計画の整 備を終えたことから、新設の中町自 転車等駐車場の管理運営費等につ
				日		・人件費 4,245 (1.00人)	・人件費 4,245 (1.00人)	1			〈達成率〉 64.9%	〈達成率〉 64.9%	〈達成率〉 100.0%			〈達成率〉 110.8%		<達成率> 95.8%										いては、自転車等の放置防止対策 及び駐車場等管理運営費に統合し、 本事業は終了する。